

2022年04月15日

## 株式会社タカラレーベンと「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

3月28日、株式会社タカラレーベン（代表取締役 島田和一）は、本商品にて、メガソーラー事業資金としてシンジケートローン契約を締結いたしました。

また、MUFG ESG 評価において、「特に進んでいる」との評価である A ランクを取得しました。

株式会社タカラレーベンは「幸せを考える。幸せをつくる。」という企業ビジョンの基、新築分譲マンション事業をコア事業として全国で展開する不動産総合デベロッパーです。太陽光発電マンションの開発ノウハウを活かし、エネルギー事業にも参入しております。2022年9月に迎える創業50周年に向け、スローガンとして「ライフスタイルに、新常識を。」を掲げ、常識に捉われない、新たなライフスタイルやサービスを提案しています。今後も、あらゆるステークホルダーとの対話を通して、独自のビジネスモデルを堅持しつつ、時代や環境の変化に対応した進化を通じて着実な成長を持続させるべく、ESG を意識した事業運営と価値創造を推進しております。

### 【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ 環境側面 (E) では、グループ会社では ISO14001 を取得しているなど、経営会議を中心に CSR 戦略に沿った環境課題に関する取り組みが積極的になされている点が評価されました。特にメガソーラー発電における太陽光発電量の目標の推進や、気候変動に起因する自然災害への BCP 対応などの環境リスクへの対策、従来にない環境価値を備えた ZEH マンション導入などの環境配慮活動に積極的に取り組まれている点が高く評価されました。
- ✓ 社会側面 (S) では、CSR 基本方針の下で、人権尊重（差別の禁止）や労働安全衛生、適正な人事評価、地域コミュニティへの配慮など様々な分野において、従業員及び顧客、地域社会に対して積極的な活動及びマネジメントを実施されている点が高く評価されました。
- ✓ ガバナンス側面 (G) では、取締役会の実効性評価や設定された選任基準に則り、指名委員会によって取締役の選任が行われているといった透明性が担保されている点や、代表取締役を委員長とする「コンプライアンス・リスクマネジメント委員会」の下で、利益相反や腐敗の防止といったコンプライアンス遵守を徹底して実施されている点が高く評価されました。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上